



だいこん



発行日：令和8年2月6日

1. 卸売価格の動向

○84円/kg (2月3日)

➢ 年比：85%

○2月の価格見通し

前半は平年を下回って推移
後半は平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

2. 小売価格の動向

○183円/kg

(1月9日全国平均)

➢ 前月比：112%、年比：105%

➢ 東京：193円 (1本)

➢ 大阪：243円 (1本)

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：9/20 (前月10/20)

➢ 大阪：2/10 (前月3/10)
(機構調べ)

3. 家計消費動向

○443g/人 (12月全国平均)

➢ 前月比：102%

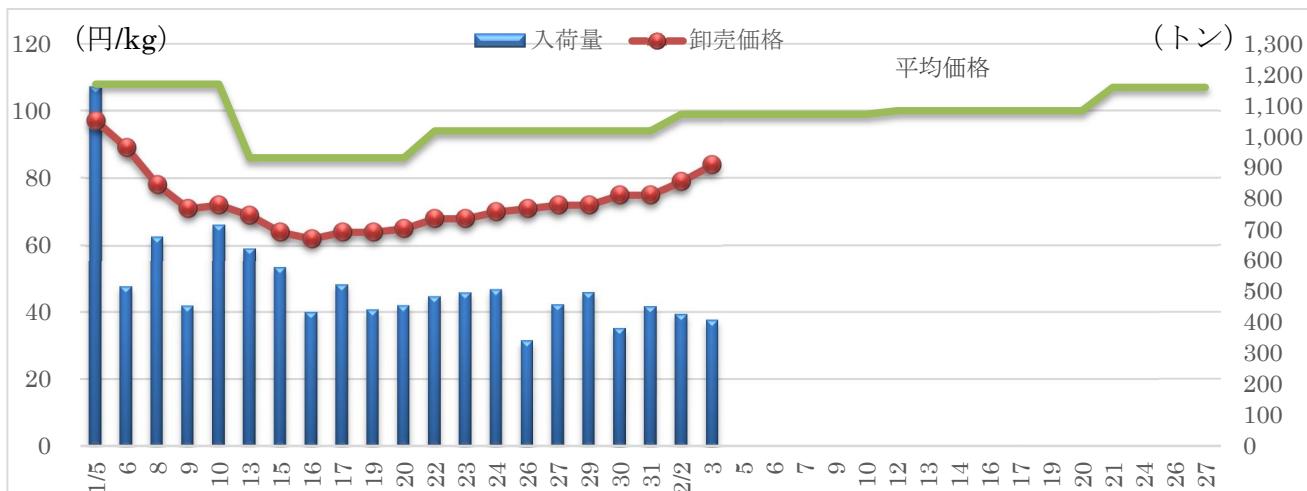
➢ 前年同月比：109%

○3,415g/人 (2024年年間)

➢ 前年比：96%

(総務省統計局家計調査)

4. だいこんの卸売価格と入荷量の推移 (東京都中央卸売市場)



5. だいこんの小売価格の推移



6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
石川県JA金沢市 (10/21)	減少	平年並み	平年並み	遅い
福井県坂井市 (11/9)	減少	平年並み	平年並み	平年並み
静岡県JAハイナン (12/3)	減少	やや不良	遅い	遅い
和歌山県和歌山 (12/3)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
徳島県里浦 (1/19)	増加	平年並み	平年並み	平年並み
福岡県福岡市 (1/22)	増加	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。 () 内は調査日。

(機構調べ)



福岡県福岡市：圃場の様子

7. 向こう1ヶ月の気象情報（2/7～3/6）

週 別 の 天 気				
2/7～2/13	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
2/14～2/20	北日本日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、寒気の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が少ないでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
2/21～3/6	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。 北・東日本日本海側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響を受けにくいため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
北日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み
西日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並40 多40% 平年並が多い見込み
	太平洋側		少50 並30 多20% 少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み

(気象庁 1カ月予報)

8. 輸入動向（生鮮その他根菜類）※にんじん・かぶ・ごぼうは除く

○136トン(12月輸入量)

➤ 前年同月比：44%

2000 (トン)

1500

○輸入先国ベスト3

1位 中国	120トン
2位 オランダ	11トン
3位 豪州	4トン
(財務省貿易統計)	

1000

500

0

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

■令和7年
■令和6年
■平年

9. 一口メモ

1月は、千葉産、神奈川産の入荷で豊作傾向。太物比率も高く潤沢感があったが中旬以降は畑の切替や前進主化の反動、低温、干ばつの影響で徐々に入荷が減って価格は上向いた。

2月の産地は変わらず、1月の低温と干ばつの影響で生育が緩慢となっている。出荷数量は平年並み、価格は前半は平年を下回り、後半は平年並みで推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課